

登録コード	EKF22900	開講年度	2026			
授業科目	理科指導案構築演習					担当教員 藤森 隼一 他
英文授業名	Exercise to build a science teaching plan					副担当 植原 俊晴
単位数	1	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	木曜・2時限	履修学年
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ, 2 4 E A カリ					
	教育の専門職としての学識・技能				⇔	目標に基づいた理科の授業を行うための基礎となる学習指導案を構築することができる。
	2 4 E A カリ					
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点				⇔	理科学習指導案を構築することを通して、個人が有していたり、集団に共有されていたりする学習観などを明らかにすることができる。
	子どもの多様なニーズへの対応力				⇔	多様な子どものニーズを踏まえた理科の授業が実践できるように学習指導案を構築することができる。
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力				⇔	子どもにとってより良い理科の授業が実践できるよう学習指導案を構築するために他者と協働することができる。
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				⇔	これまでの理科の実践を省察するとともに、それに捉われない挑戦的な学習指導案を構築することができる。
	社会の一員である教員として生きる意志と倫理観				⇔	絶えず理科の学習指導案を構築し省察することを通して、授業改善に努めることができる。
(2)授業の概要	・演習方式で、理科教育学の専門性に裏付けられた初等・中等教育における授業実践に向けての学習指導案構築に関わる各自の研究課題について、理科教育の先行研究や先行実践に位置付けながら各教科の授業実態に基づいて設定までの背景や問題の所在を中心に、発表をおこない、質疑応答・討議します。 ・担当教員が義務教育学校での実務経験をいかして授業を行います。					
(3)授業計画	第1回：理科教育に関する先行研究と先行実践の成果と課題を踏まえた各自の研究課題に基づく学習指導案構築に向けた課題設定（事例提示）。 第2回：理科教育の学習目標・評価方法・評価手段・授業展開についての理論 第3回：理科教育の学習指導案と単元シラバス・年間シラバスの検討 第4回：理科教育の学習指導案上におけるより良い題材・教材の検討 第5回：理科教育の構築した学習指導案についての議論（工夫した点とその教育的な意義） 第6回：理科教育の改善した学習指導案についての議論（議論を踏まえての改良点） 第7回：成果のまとめと研究課題解決のための構想（レポート提出）					
(4)成績評価の方法	・各回の発表内容（40%）、質疑応答・議論の内容（20%）、およびレポート（40%）によって評価します。 ・得点率による評価基準は次のとおりです。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(5)履修上の注意	・研究課題によって、授業の内容や日程などを変更することがあります。 ・履修に当たっては、自らの研究課題を考慮し、指導教員と相談の上で決定してください。					
(6)質問,相談への対応および連絡先	在室であればいつでも, W313室, fujimori_junichi@shinshu-u.ac.jp					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：(1)研究課題, (2)理論的枠組み, (3)授業内容と専門性, (4)研究の意義, のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)～(4)のうち3つ以上について発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「かなり上である」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)～(4)のうち2つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「やや上にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できた上で, (1)～(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表, 討議, およびレポートが実現できている。 「水準にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表, 討議, およびレポート構成が実現できている。					
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備してください。また、研究課題に関連した文献等を、図書館等で検索・収集し、研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり、吟味したりしてください。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について、事後に各自で調べて再検討してください。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。					
【教科書】	必要に応じて提示します。					
【参考書】	必要に応じて提示します。					